



POCO a POCO

(ポコ・ア・ポコ)

三和中央病院

発行人：塚崎 稔 発行所：長崎県長崎市布巻町165-1
 TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588
<http://www.sanwa.or.jp>

印 刷：昭英印刷有限会社 長崎市平野町13-13 TEL 095-844-0231

POCO a POCO (ポコ・ア・ポコ) とは…

ポコ・ア・ポコとは少しずつという意味があり、何事も少しずつ、徐々に良くなっていければなどの思いを込めてみました。

基本理念 安心できる、ところろ温まる医療

●基本方針

1. 私たちは誠実で親切な心をもって医療に従事します。 2. 私たちは人権を尊重した良質な医療を提供します。 3. 私たちは地域精神医療と地域ケアを実践していきます。

【この1年を振り返って】 三和中央病院 院長 塚崎 稔

この1年当院では、患者さんの社会復帰の一環として退院支援会議を多職種で開催し、長期入院の患者さんが地域で暮せるように支援する仕組みを作りました。退院支援リハビリ科の活動では訪問看護やデイケア・デイナイトケアを活用し、民間のアパートで一人暮らしをされるケースが少しずつ増えてきました。外来の受付では朝早くからデイケアを楽しみに待っている患者さんの姿を見るようになりました。

それから地域連携室を設置し地域の医療機関や福祉施設との連携の強化をはかりました。当院だけで患者さんを支えるのではなく、いろいろなノウハウを持つ人たちの支えも必要です。

患者さんの回復過程をじかに観察していると、患者さんにとって「何がいちばん幸せか」ということを考えること、そうすることによって患者さん自らの回復力を伸ばしていくことが、とても重要であるとわかってきます。

依存症の人、認知症を病んでいる人、終末期の死に直面しつつある人、人生に終りを告げたいと真剣に考えている、うつ病の人。いろんな患者さんが当院で治療を受けています。しかし、たとえそのような病気を持っていても「意味ある人生をおくれた」と感じられるよう支援することが、これからの医療に求められてくると思います。

来年も私たち三和中央病院のスタッフはこのことを第一に考え、診療、看護に従事していきたいと思えます。



第20回 内観療法ワークショップが開催されました

さる11月1日～2日に長崎で日本内観学会主催の「第20回内観療法ワークショップ」が開催されました。当院の塚崎院長が実行委員長を務め「回復する力 内観で生れるところ」をテーマとし、多布施内観研修所所長の池上吉彦先生や帝塚山大学教授の三木善彦先生の講演、さらに特別講演として指宿竹元病院院長の竹元隆洋先生、招待講演として活水女子大学の奥野政元学長を迎え貴重なお話を拝聴することができました。シンポジウムでは、内観による身体と心、家族、さらに魂の回復を4人の先生方に語っていただきました。

また、プロ野球の福岡ソフトバンクホークスで大活躍されている小久保裕紀選手が自ら体験した内観について発表していただきました。

大会初日終了後の懇親会では講師の先生方や参加者の皆さんと一緒に和気あいの楽しい夜を過ごす事ができました。院長を始め病院スタッフによる龍踊り、三木先生のマジック披露等で大いに盛り上がりました。



懇親会



シンポジウムの先生方



竹元隆洋先生



小久保裕紀選手

お知らせ

「三和中央病院 入院認知症講演会」 が開催されます。

日時：平成21年1月20日(火) 午後6時30分～午後9時

場所：ベストウェスタンプレミアホテル長崎（旧プリンスホテル）
長崎市宝町2-26 Tel 095-821-1111

内容：第一部 三和中央病院 岩田信之副院長 講演「入院認知症」
第二部 多職種専門スタッフによるBPSD（認知症の行動と心理症状）のシンポジウム

【お問合せ】 長崎市布巻町165-1 Tel 095-898-7511 Fax 095-898-7588

三和中央病院内 実行委員長 岩田信之 実行委員 尾上、梁瀬



部署紹介① 精神科リハビリテーション部

当病院の基本理念である「安心できるこころ温まる医療」を実現する為に、地域の役割に基づいた精神病院としての役割、機能が明らかとなる病院の体制作りを目指し良質な医療と地域精神医療を目的として平成18年6月に新設されました。



スタッフ紹介

- 作業療法士 7名
- 看護師 7名
- 理学療法士 2名
- 精神保健福祉士 1名
- あん摩・マッサージ師 1名
- 作業療法助手 1名
- 生活福祉員 1名
- 看護補助者 1名

精神科 リハビリテーション部

病棟リハビリテーション室

患者様ひとりひとりの日常生活全般の機能回復、維持及び訓練、指導及び支援。体力増強、ADLの改善などの運動療法。退院支援を組織的に行なっています。

在宅リハビリテーション室

退院後の生活の充実を図る目的として、居場所、治療の場としての機能、社会復帰を目指す場としての役割。症状再燃の早期発見や生活のリズムの安定等を支援します。

入院作業療法科

デイケア・ナイトケア科

理学療法科

訪問看護科

退院支援リハビリ科

部署紹介② **とまと病棟**



とまと病棟は、児童・思春期の患者様も受け入れる精神一般病棟です。

図書室や音楽室、体育室とハード面では充実しており現在は、担当Ns制の機能強化や疾患別グループ看護への取り組みなどソフト面の充実を目指して頑張っています。



スタッフ紹介

- 正看護師 11名
- 准看護師 8名
- 看護助手 3名



体育室



音楽療法室



図書室・学習室



さんさん会

精神障害者家族会



日時：奇数月の第四土曜日又は第四日曜日 午後1時30分～
 場所：三和中央病院 西棟3階会議室
 内容：ビデオを観ながら学習
 専門スタッフによる話
 ご家族同士での交流会 など

お問い合わせ 三和中央病院 リハビリテーション部
 095-898-7511 (内線 5162)

精神療養病棟、思春期治療病棟の入院患者様のご家族、デイケア、訪問看護などの外来通院患者様のご家族を対象として家族会を行っています。2ヶ月に1回、第4土曜日または日曜日に開催しています。

「ベテルの家」(*)のビデオを見て患者様が抱えている悩み、本音を勉強したり、各月毎に病院スタッフ等が職種別の講義を行い、病気や症状についての知識や対応、薬の効用及び副作用、食事面では、バランス良い栄養の摂りかた、治療費に関する制度などを分かり易く説明し、ご家族様に御理解頂き知識を高めていければと努力しております。

また家族間での意見交換では悩み対して共感を持ち、ストレスを和らげるなどを目的として行っています。

現在はスタッフがお手伝いをさせて頂くかたちをとっていますが、将来的にはご家族様だけで運営されて行く「家族会」を目指して病院スタッフが協力し頑張っています。



*ベテルの家とは元々、精神障害をもつ当事者による回復者クラブとして発足。
 現在は精神障害者ばかりではなく様々な障害を持った当事者が参加し地域で活動している。

夏の思い出 キャンプにて…



秋の思い出① 秋祭り・ブドウ狩り



秋の思い出② 敬老会



医療法人 済潮会 三和中央病院
 診療科目：精神科・心療内科・内科・歯科
 〒851-0494 長崎県長崎市布巻町165-1
 TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588
 E-mail : info@sanwa.or.jp

編集後記

早いもので今年も残り少なくなってきました。1年たつのが加速装置でも付いているかの如くあっという間に時間が通過していきました。広報誌もついこの間、第1号を発行したのになんか思いつきの今回の第2号の発行となりました。

みなさまのご意見、ご感想などありましたら、お聞かせ下さい。

<広報誌スタッフ一同> 担当 久保田